

# 平成27年度 栃木県環境マネジメントシステム（EMS）の全体評価について

〔H28.3.23 地球温暖化対策課〕

栃木県環境管理マニュアルの規定に基づき、今年度のEMSの運用状況、内部環境監査及び外部評価の結果を踏まえ、知事による全体評価を行い、次のとおり改善指示を行うもの。

【評価の対象期間】平成27年度（平成27年4月～平成28年3月）

【EMS適用組織】全庁311所属

## I. 環境管理統括者（知事）による全体評価と改善指示

### 1. 全体評価

概ね適切。ただし、重要度の高い環境活動については徹底した取組が必要。

### 2. 改善指示

次のとおり全庁に改善を指示すること。

- (1) 一部の所属において、産業廃棄物、毒劇物・化学薬品及び危険物の保管状況や掲示板に不備が見られたので、早急に改善すること。
- (2) フロン排出抑制法に基づく業務用エアコンや冷凍冷蔵機器の点検を行うこと。
- (3) 次年度のEMS運用に当たっては、以下に留意すること。
  - (□は全所属、●は所属（庁舎管理者）によって対応)
  - 目標設定においては、職員の意見を踏まえ、日常業務を反映する活動を設定すること。
  - 目標達成のためには、個別の具体的施策の有効性について十分に検証することが重要であり、レビューや効果算定等を充実させること。
  - 中長期的な視点に立った施設改修や設備投資による高効率機器への更新や燃料種転換を計画・検討すること。

なお、引き続き、職員一人ひとりが節電・省エネ及び省資源の取組を自主的に行ない、県庁の温室効果ガス排出量抑制を図るとともに、PDCAサイクルによる継続的な改善により、環境負荷の低減に努めること。

## Ⅱ. 平成 27 年度の EMS の取組状況

### 1. 目標の達成状況（取組状況）

#### （1）重要管理項目

次の 49 項目を重要管理項目として取り組んでいる。

- ① 「環境基本計画」の指標管理施策に係る 38 項目
- ② 「地球温暖化対策実行計画」及び「グリーン調達推進方針」に係る 7 項目
- ③ 公共工事、イベント、庁舎管理、緊急事態発生可能性のあるもの、計 4 項目

#### （2）所属目標

全所属において最重要課題として取り組む所属目標を 1 つ掲げ、実施計画を作成して目標達成に向け取り組んでいる。

多かった所属目標は「電気使用量の削減」「用紙使用量の削減」「廃棄物排出量の削減」

#### （3）実績の自己評価（中間評価）

全所属において、平成 27 年度上半期（4 月～9 月）の実績について自己評価を実施概ね適正に行われていると評価しているが、一部の所属において取組が不十分と評価

- ① 今年度の全庁目標に掲げた用紙使用量の削減が未達成
- ② 一部の所属で緊急事態対応手順書に基づく定期訓練が未実施

### 2. 環境法令等の遵守状況

延べ 49 法令について、各所属で遵守しながら事業遂行

### 3. 県民等からの要望及び苦情 EMS に関するものはなし

### 4. 自己点検による是正措置の状況 報告事例なし

### 5. 内部環境監査の結果

被監査所属（156 課所室）に対する監査を実施。軽微な注意事項のみ 6 件

### 6. 外部評価の結果

全所属と EMS 事務局の書類審査及び現地調査（18 所属）に基づき評価（委員 3 名）

【評価結果】取組は効果を上げている。全体として概ね適切であるが、いくつかの改善提案あり。

### 7. 前回の改善指示への対応状況

一部について対応不十分（産業廃棄物等の掲示の不備）

### 8. 変化している周囲の状況

フロン排出抑制法が平成 27 年 4 月から施行（業務用エアコンの点検の義務付け等）

省エネルギーの視点に立った設備の改修（27 年度は 5 施設を実施）